※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　公共　（第一学習社）						
副教材等	ズームアップ　公共資料　（実況出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会は大きな変革の時代です。情報化社会・AI 技術の進展によりこれまで以上に多くの情報に携わる必要があります。社会で生きる上で必要な様々な知識、「公」のシステムである法律、「共（とも）」に人々が生きるために必要な人権や倫理、人々を動かす手段である経済などについてこの教科では学んでいきます。

授業では教科書・資料集を活用するとともに、何度かプレゼンテーションやレポート提出課題を行い、いわゆる定期考査とともに評価します。現代では「教科書に基づいて学ぶ知識」も「資料に基づいて行う思考」も「主体的に学び、それを人に伝える」力もすべて必要だと考えているからです。この教科は大人になってから「学校で教えておいて欲しかった」といわれることが多い内容の「基礎」が多く含まれています。様々な手法の学習を通じて「学んでおいてよかった」と将来あなたが思えることを願っています。

２　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

・現代の諸課題を捉え，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，資料を活用して情報活用手段と情報倫理について考え、それを活用して社会に対する変革を考察することができるようになる。

・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

・社会の多様性と人権の重要性について認識し、現代存在する諸権利がどのような歴史的計で制定され、それがどのように現代社会において活用され、未来においてどのようにして人権を保障する必要があるかを理解、考察して、自己と社会集団としての公的社会の側面をとらえることができるようになる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1編第1章公共的な空間をつくる私たち	社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:　人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを十分理解し、対話を通じて他者や異文化について理解しあえる社会的な存在であることを十分理解している。 b:　人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解し、対話を通じて他者や異文化について理解しあえる社会的な存在であることを理解している。 c:　人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることをあまり理解できておらず、また、人間は対話をとおして他者や異文化について理解しあえる社会的な存在であることをあまり理解できていない。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

※令和４年度以降入学生用

	第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1人間と社会のあり方についての見方・考え方 2実社会の事例から考える～環境保護 3実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1公共的な空間を形成するための考え方 2よりよく生きる行為者として活動するために	a：選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて十分に理解しており、また公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 b：選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解しており、また公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，理解して解決しようとしている。 c：選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解できておらず、また公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，主体的にとらえられていない。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題 ・レポート内容	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題 ・レポート内容 ・オンライン課題	・振り返り ・レポート準備及び提出

※令和４年度以降入学生用

	第３章　公共的な空間における基本的原理	■古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。 Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a:人間の尊厳と平等および個人尊重の重要性について十分理解するとともに、民主的な政治と協調について多面・多角的に考察できており、それとともに日本国憲法の歴史的経緯と重要性について理解できている。 b: 人間の尊厳と平等および個人尊重の重要性について理解するとともに、民主的な政治と協調について考察しており、それとともに日本国憲法の重要性について理解できている。 c：人間の尊厳と平等および個人尊重の重要性について理解できておらず、また民主的な政治と協調についてと日本国憲法の歴史的経緯と重要性について理解できていない。	定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

※令和４年度以降入学生用

	第２編第１章　法的な主体となる私たち	憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解する。 主題１　法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために 主題２　契約と消費者の権利・責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任 主題３　司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	a：法の役割や，法が日常生活に密接に関連していることおよび、公法と私法の違いや，基本的人権と法との関わりについて十分に理解している。法をよりよく変えるために私たちにはどのような権利があるかを十分に多面的・多角的に考察し，説明している。政治への参加や裁判による紛争解決について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。 b：法の役割や，法が日常生活に密接に関連していることおよび、公法と私法の違いや，基本的人権と法との関わりについて理解している。法をよりよく変えるために私たちにはどのような権利があるかを考察し，説明している。政治への参加や裁判による紛争解決について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。 c：法の役割や，法が日常生活に密接に関連していることおよび、公法と私法の違いや，基本的人権と法との関わりについて理解できていない。法をよりよく変えるために私たちにはどのような権利があるかを考察し，説明できていない。政治への参加や裁判による紛争解決について，現代社会に見られる課題の解決を関連づけてかかわろうとしていない。	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題 ・レポート内容	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題 ・レポート内容 ・オンライン課題	・振り返り ・レポート準備及び提出

※令和４年度以降入学生用

2	第2章　政治的な主体となる私たち	よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 主題４　政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 主題５　国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題 主題６　日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和 主題７　国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a：政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を十分に理解するとともに、議院内閣制の下で，国会と内閣が十分に機能するにはどうすればよいかを十分に多面的・多角的に考察し，説明できている。投票について，現代社会に見られる課題の解決に対し主体的に関わろうとし、その中で地域の課題を自分事として捉え，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。 b：政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解するとともに、議院内閣制の下で，国会と内閣が十分に機能するにはどうすればよいかを多面的・多角的に考察し，説明できている。投票について，現代社会に見られる課題と、地域の課題を相関して捉え，現代社会に見られる課題の解決に主体的に関わろうとしている。 c：政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解できず、議院内閣制の下で，国会と内閣が十分に機能するにはどうすればよいかを考察できていない。投票について，現代社会に見られる課題と、地域の課題を相　関して捉えることができず，現代社会に見られる課題の解決に対し他人事であるととらえ、主体的に関わることができていない。	定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

※令和４年度以降入学生用

	第３章　経済的な主体となる私たち	公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 主題８　雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 主題９　社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	主題８～９ a: 企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，十分に理解し、活発な経済活動と個人の尊重を両立するための政府の役割について十分に多面的・多角的に考察し，説明している。また、近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について十分に多面的・多角的に考察し，説明し、雇用と労働問題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。農林水産業の課題とそれに対する取り組みや，戦後の日本経済のあゆみについて十分に理解している。 b: 企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，理解し、活発な経済活動と個人の尊重を両立するための政府の役割について多面的・多角的に考察し，説明している。また、近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について多面的・多角的に考察し，説明し、雇用と労働問題について，現代社会に見られる課題の解決に関わろうとしている。農林水産業の課題とそれに対する取り組みや，戦後の日本経済のあゆみについて理解している。 c: 企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，理解し、活発な経済活動と個人の尊重を両立するための政府の役割について理解し説明するこ	・定期考査 ・小テスト ・オンライン課題 ・レポート内容	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・オンライン課題 ・レポート内容 ・オンライン課題	・振り返り ・レポート準備及び提出

※令和４年度以降入学生用

			とができない。また、近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について考察できず、雇用と労働問題について，現代社会に見られる課題の解決に関わろうとしていない。農林水産業の課題とそれに対する取り組みや，戦後の日本経済のあゆみについて理解できていない。 主題１０～１３ a:　経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を十分に理解し、現代における社会保障と財政の観点を含めた金融システムについて十分に理解ができている。価格の変化が消費者や企業に及ぼす影響や，市場の失敗に対する政府の取り組みについて十分に多面的・多角的に考察し，説明している。市場経済の機能と限界について，環境や社会福祉の観点を踏まえつつ、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。また、経済のグローバル化がもたらす問題を解決する方法について十分に多面的・多角的に考察し，説明している。 b:　経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解し、現代における社会保障と財政の観点を含めた金融システムについて理解ができている。価格の変化が消費者や企業に及ぼす影響や，政府の取り組みについて考察し説明している。市場経済の機能と限界について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。また経済のグローバル化がもたらす問題を解決する方法について			
		主題 10　市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉 主題 11　金融のはたらき 1 金融の意義や役割 主題 12　財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉 主題 13　経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから				

※令和４年度以降入学生用

			考察し，説明している。 c:　経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解し、現代における社会保障と財政の観点を含めた金融システムについて理解できていない。価格の変化が消費者や企業に及ぼす影響や，政府の取り組みについて考察できていない。市場経済の機能と限界について，現代社会に見られる課題の解決を視野に関わろうとしていない。また、経済のグローバル化がもたらす問題を解決する方法について考察できていない。			

※令和４年度以降入学生用

3	第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な地域，国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う，公共の精神をもった自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，現代の諸課題を探究する活動を行う。 ①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	a: 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を十分に理解している。また、これまでの学習を関連させ，幸福，正義，公正などに着目して，十分に多面的・多角的に考察し，表現し、それとともに主体となって課題解決を考えることができている。 b: 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。また、これまでの学習を関連させ，幸福，正義，公正などに着目して，考察，表現し、それとともに主体となって課題解決を考えることができている。 c: 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解できていない。また、これまでの学習を関連させ考察，表現できておらず、その結果主体となって課題解決を考えることができていない。	定期考査 ・小テスト ・オンライン課題	・定期考査 ・小テスト ・考察内容 ・発表内容 ・オンライン課題	・振り返り ・発表準備

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度